

タイトル 暮らしを豊かにする仕組みづくりの研究

氏名 梅澤佳子 所属 多摩大学経営情報学部 肩書 教授

多摩大学教員サイト URL <http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/umezawa.html>

キーワード

レジャー（=教育・生涯学習）・コミュニティデザイン・健康スポーツプログラム開発、生涯学習プログラム開発、全員参加型

概要

本研究室は、社会学（主にレジャー、教育、生涯学習、地域、健康スポーツ、生活文化）からのアプローチにより、暮らしを豊かにする仕組みづくりの調査・研究を行うと共に、産学公民連携により、自由時間のプログラム開発、生涯学習プログラム開発、成熟社会におけるコミュニティデザイン（地域の仕組みづくり）を通じて研究を実際に活かす取り組みを行っている。

近年は、人口減少、人生 100 年時代の到来を見据え「世代間交流による地域文化の継承、地域の担い手づくり」、「アクティブシニアの生涯学習」、「多世代交流による健康づくり」を 3 本の柱として研究に取り組み、「ロコモティブシンドローム予防のための健康講座」や「世代間交流健康トレーニング」などを地域の方々や学生を巻き込みながら実践している。

ゼミは問題解決に向かって自ら行動を起こすことができる「次世代の豊かな生活者」の育成を目指し、産学公民と連携して地域課題解決型プロジェクトを年間 3～5 件実践。2014 年度は(公社)学術・文化・産業ネットワーク多摩主催「多摩の大学生 まちづくりコンペティション」で 2 件のプロジェクトが最優秀賞、奨励賞を受賞。2016 年度・2017 年度・2018 年度は大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業に採択され、八王子市地域包括支援センター、八王子市社会福祉協議会、八王子市民生委員・児童員と連携して高齢者サロンの企画運営を行っている。

応用分野

- *健康長寿社会に向けての健康教育プログラム開発とサービス（実績多数）
- *ロコモティブシンドローム対策のための健康プログラム開発とサービス（実績多数）
- *シニアを対象としたレジャー教育プログラム開発
- *PBL 型教育プログラムの開発と実践（実施中）
- *行政・企業・民間向け生涯学習プログラムサービス（研修等）の開発（実績多数）
- *多世代交流を目的とした健康、生涯学習プログラムサービス（実施中）

関連論文・著書

1. 「世代間で学ぶ健康学習のプログラム開発 - ロコモティブシンドロームに着目して -」（共著）『2016 年度公益財団法人日本健康アカデミー健康知識・教育に係る公募助成金事業成果報告書』2018 年
2. 「地域連携型 PBL による次世代と地域を育む学びの可能性-多摩大学ホームゼミナール活動を通じて」（単著）『多摩学のアクティブ・ラーニングプログラム開発』100-105 頁. 多摩大学経営情報学部 2014 年度共同研究プロジェクト. 2015 年
3. 「IX 章ウォーキングの実践と継続に向けて-地域密着型ウォーキング習慣の育成」（単著）宮下充正監修『ウォーキング指導者必携- Medical Walking』南江堂. 2013 年
4. 「旅と健康」「モラトリアム」（単著）日本応用心理学会編『応用心理学事典』丸善. 2007 年

